

## 2018年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年1月30日

上場会社名 FDK株式会社  
 コード番号 6955 URL <http://www.fdk.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 洋一  
 問合せ先責任者 (役職名) CSR・広報IR室長 (氏名) 熊谷 俊二

TEL 03-5715-7400

四半期報告書提出予定日 2018年2月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2018年3月期第3四半期の連結業績(2017年4月1日～2017年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第3四半期	54,894	1.2	638		429		226	
2017年3月期第3四半期	55,571	11.0	227		320		641	

(注) 包括利益 2018年3月期第3四半期 1,120百万円 ( %) 2017年3月期第3四半期 344百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第3四半期	0.81	
2017年3月期第3四半期	2.29	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第3四半期	52,697	5,392	10.2
2017年3月期	49,132	4,638	8.0

(参考) 自己資本 2018年3月期第3四半期 5,388百万円 2017年3月期 3,922百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期		0.00		0.00	0.00
2018年3月期		0.00			
2018年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	2.3	600		250		10		0.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) FDKエナジー株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年3月期3Q	280,363,026 株	2017年3月期	280,363,026 株
期末自己株式数	2018年3月期3Q	270,156 株	2017年3月期	266,012 株
期中平均株式数(四半期累計)	2018年3月期3Q	280,095,267 株	2017年3月期3Q	280,100,758 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境につきましては、国内においては企業収益や雇用環境の改善、設備投資の増加や個人消費も緩やかな回復基調にあります。北米、欧州や東アジアの地政学的リスクなどの影響により、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループはインダストリアル市場向けでは、モビリティの発展により今後成長が期待されるI o T、車載、情報通信などの用途において、グローバルでの新規顧客の開拓、工業用途向けニッケル水素電池、リチウム電池、積層パワーインダクタの供給数量拡大に努めました。また、前期に開発した全固体リチウムイオン電池用正極材料の性能向上に加え、早期の製品サンプル出荷に向けた実用化技術の開発を推し進めました。コンシューマ市場向けでは、北米のアルカリ乾電池、ニッケル水素電池の店頭における販売が伸びにくい状況のなか、インターネット販売用途向けの供給数量拡大に努めました。

当期の経営成績につきましては、電池事業で売上高はリチウム電池や蓄電システムが堅調に推移したものの、アルカリ乾電池やニッケル水素電池が北米のコンシューマ市場で減少しました。また、電子事業の売上高は積層パワーインダクタやコイルデバイスなどが堅調に推移しましたが、液晶ディスプレイ用信号処理モジュールやDC-D Cパワーモジュールなどが減少しました。この結果、売上高は前年同期に比べ6億76百万円(△1.2%)減の548億94百万円となりました。

損益面につきましては、電池事業はアルカリ乾電池とニッケル水素電池の売上減、原材料価格高騰の影響があったものの、リチウム電池や蓄電システムの売上増、コストダウンや円安による影響により増益になりました。また、電子事業は液晶ディスプレイ用信号処理モジュールやDC-D Cパワーモジュールの売上が落ち込みましたが、積層パワーインダクタ、トナーの売上増や前期に実施した固定資産の減損処理による固定費減少の影響により、損失幅が縮小しました。この結果、営業利益は前年同期に比べ8億65百万円増と回復し、6億38百万円(前年同期は2億27百万円の営業損失)となりました。経常利益は営業外収益として固定資産売却益1億34百万円を計上しましたが、営業外費用として替差損84百万円、持分法による投資損失73百万円の計上などにより4億29百万円(前年同期は3億20百万円の経常損失)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億26百万円(前年同期は6億41百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)と、ともに黒字転換しました。

事業別の売上概況は以下のとおりです。

#### ①電池事業

アルカリ乾電池は、インターネット販売用途向けやPB販売用途向けが堅調に推移したものの、欧米のOEM販売用途向けが落ち込み、前年同期を下回りました。ニッケル水素電池は、非常用照明バックアップ用途などの工業用途向けが堅調に推移しましたが、海外の市販用途が減少し、前年同期を下回りました。蓄電システムは、サーバ・エレベータ・通信機器などのバックアップ用途向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。リチウム電池は、国内の次世代スマートメータ・住警器用途向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。設備関連ビジネスは、自動車用部品組立設備が堅調に推移しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ6億20百万円減少の363億66百万円となりました。

#### ②電子事業

コイルデバイスは、車載・LED照明・各種製造設備用途向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。積層パワーインダクタは、スマートフォン用途向けや産業機器用集積回路用途向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。セラミックス部品は、デジタルカメラ市場の低迷により、前年同期を下回りました。DC-D Cパワーモジュールは、ネットワーク機器用途向けが落ち込んだことにより、前年同期を下回りました。液晶ディスプレイ用信号処理モジュールは、タブレット用途向けや中・大型液晶用途向けが落ち込んだことにより、前年同期を下回りました。スイッチング電源は、半導体装置用途向けなどが堅調に推移し、前年同期を上回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ56百万円減少の185億27百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ35億64百万円(7.3%)増の526億97百万円となりました。流動資産は前連結会計年度に比べ31億37百万円(10.0%)増の346億13百万円、固定資産は前連結会計年度に比べ4億27百万円(2.4%)増180億83百万円となりました。流動資産増加の主な要因は、現金及び預金が13億69百万円、受取手形及び売掛金が13億48百万円、原材料及び貯蔵品が7億69百万円それぞれ増加したことによるものです。固定資産増加の主な要因は、有形固定資産が2億93百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べ28億11百万円(6.3%)増の473億5百万円となりました。流動負債は前連結会計年度に比べ36億46百万円(9.9%)増の406億23百万円、固定負債は前連結会計年度に比べ8億34百万円(△11.1%)減の66億81百万円となりました。流動負債増加の主な要因は、短期借入金が26億50百万円、支払手形及び買掛金が17億1百万円それぞれ増加したことによるものです。固定負債減少の主な要因は、長期未払金が4億55百万円減少したことによるものです。

なお、有利子負債残高は、前連結会計年度に比べ25億4百万円増の207億99百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間の純資産合計は、前連結会計年度に比べ7億53百万円(16.2%)増の53億92百万円となりました。純資産増加の主な要因は、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得等により非支配株主持分が7億13百万円減少しましたが、為替換算調整勘定が5億50百万円、資本剰余金が3億46百万円、退職給付に係る調整累計額が3億34百万円それぞれ増加したことによるものです。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権やたな卸資産の増加などによる現金及び現金同等物(以下「資金」という)の減少はありましたが、減価償却費の計上や仕入債務の増加などにより7億40百万円の資金増加(前第3四半期連結累計期間は5億37百万円の資金減少)となりました。

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより13億92百万円の資金減少(前第3四半期連結累計期間は19億21百万円の資金減少)となりました。

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出などがありましたが、短期借入金の増加などにより18億54百万円の資金増加(前第3四半期連結累計期間は14億99百万円の資金増加)となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間末の資金残高は期首残高より13億69百万円増加し、49億8百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期の連結業績予想は、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,538	4,908
受取手形及び売掛金	18,427	19,776
商品及び製品	3,016	2,906
仕掛品	2,662	3,001
原材料及び貯蔵品	2,186	2,955
繰延税金資産	108	21
その他	1,576	1,075
貸倒引当金	△40	△31
流動資産合計	31,475	34,613
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,339	6,243
機械装置及び運搬具（純額）	4,596	4,713
工具、器具及び備品（純額）	1,059	1,035
土地	2,556	2,562
リース資産（純額）	1,366	1,431
建設仮勘定	563	789
有形固定資産合計	16,481	16,775
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	178	196
長期貸付金	1	1
繰延税金資産	27	43
その他	463	541
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	670	782
固定資産合計	17,656	18,083
資産合計	49,132	52,697

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,852	15,554
短期借入金	16,970	19,620
リース債務	515	497
未払金	2,512	2,494
未払法人税等	394	212
その他	2,732	2,244
流動負債合計	36,977	40,623
固定負債		
リース債務	809	681
繰延税金負債	227	204
退職給付に係る負債	4,291	4,046
長期未払金	1,817	1,362
その他	369	387
固定負債合計	7,515	6,681
負債合計	44,493	47,305
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	28,301	28,301
資本剰余金	22,622	22,968
利益剰余金	△44,908	△44,682
自己株式	△46	△46
株主資本合計	5,969	6,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23	33
為替換算調整勘定	825	1,376
退職給付に係る調整累計額	△2,896	△2,561
その他の包括利益累計額合計	△2,046	△1,151
非支配株主持分	716	3
純資産合計	4,638	5,392
負債純資産合計	49,132	52,697

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
売上高	55,571	54,894
売上原価	47,165	45,790
売上総利益	8,406	9,104
販売費及び一般管理費	8,633	8,466
営業利益又は営業損失(△)	△227	638
営業外収益		
受取利息	14	13
為替差益	39	-
固定資産売却益	-	134
有償減資払戻差益	65	-
受取賃貸料	16	17
その他	88	62
営業外収益合計	224	228
営業外費用		
支払利息	89	91
為替差損	-	84
持分法による投資損失	94	73
固定資産除却損	72	43
その他	60	143
営業外費用合計	317	437
経常利益又は経常損失(△)	△320	429
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△320	429
法人税、住民税及び事業税	326	158
法人税等調整額	△42	44
法人税等合計	284	203
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△605	225
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	36	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△641	226



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△605	225
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	9
為替換算調整勘定	△61	518
退職給付に係る調整額	340	334
持分法適用会社に対する持分相当額	△21	31
その他の包括利益合計	261	895
四半期包括利益	△344	1,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△384	1,121
非支配株主に係る四半期包括利益	40	△0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△320	429
減価償却費	1,803	1,561
有償減資払戻差益	△65	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△554	△238
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△41	△10
受取利息及び受取配当金	△17	△16
支払利息	89	91
為替差損益(△は益)	△0	△0
持分法による投資損益(△は益)	94	73
有形固定資産売却損益(△は益)	△2	△82
固定資産除却損	72	43
売上債権の増減額(△は増加)	△1,478	△882
たな卸資産の増減額(△は増加)	△960	△837
仕入債務の増減額(△は減少)	1,484	1,241
未払費用の増減額(△は減少)	△876	△440
その他	618	55
小計	△155	988
利息及び配当金の受取額	17	16
利息の支払額	△88	△95
法人税等の支払額	△310	△168
営業活動によるキャッシュ・フロー	△537	740
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,030	△1,685
有形固定資産の売却による収入	102	376
無形固定資産の取得による支出	△58	△68
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
有償減資による収入	65	-
その他	4	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,921	△1,392
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,910	2,650
自己株式の取得による支出	△0	△0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△385
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△410	△409
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,499	1,854
現金及び現金同等物に係る換算差額	△107	167
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,067	1,369
現金及び現金同等物の期首残高	5,952	3,538
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,885	4,908

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	電池事業	電子事業			
売上高					
外部顧客への売上高	36,986	18,584	55,571	—	55,571
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	36,986	18,584	55,571	—	55,571
セグメント利益又は損失(△)	1,322	△1,549	△227	—	△227

(注) セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	電池事業	電子事業			
売上高					
外部顧客への売上高	36,366	18,527	54,894	—	54,894
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	36,366	18,527	54,894	—	54,894
セグメント利益又は損失(△)	1,424	△785	638	—	638

(注) セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。